科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DD323／生活文化論 (Life and Culture)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	衣食住をはじめとした現代社会の文化社会学的検討		
担当者名 (Instructor)	田中　理恵子(TANAKA RIEKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CCS3410	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	社会学部生用 他学部生は抽選登録にて申し込むこと		

授業の目標(Course Objectives)

私たちが日常的に接している生活文化について，その意味や価値をとらえなおすための思考力を養う。

Students will cultivate thinking skills to re-examine significances and values in their everyday life cultures.

授業の内容(Course Contents)

本講義では，私たちの日常生活をかたちづくる多様な題材を取り上げ，現代社会の文化的諸相を明らかにする。
「衣食住」をはじめとする消費文化，家族やジェンダー，メディアや言語文化，娯楽やポップカルチャーなど身近な話題と，グローバル化やポストモダン文化との関連性を検討する。

In this lecture, students will select various materials that form our daily lives to clarify various cultural phenomena in modern society.
Students will discuss relationships between globalization, post-modern culture, and daily topics such as consumer culture (clothing, food, housing), family, gender, media, linguistic culture, and entertainment.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 都市文化・テクノロジーの進展と服飾革命
3. 20 世紀の生活文化と服飾
4. 戦後の消費文化とモード
5. 「多様な社会」のメディアとモード
6. グローバル化とファストファッション
7. 日本の食生活文化の変遷
8. 「豊かな社会」の食に潜む問題―食のファスト化を問う―
9. 食文化の現在―フードシステムの課題・スローフードの可能性―
10. 住宅と暮らしの文化を考える
11. 「時間貧困」と「関係貧困」①―日本型ジェンダーセグリゲーションを考える―
12. 「時間貧困」と「関係貧困」②―ワークライフアンバランスな日本社会を考える―
13. ポップカルチャーと大衆消費社会
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

準備学習の指示は，第 1 回目のガイダンスや講義で適宜指示するほか，特に必要がある場合は履修登録後に Blackboard 上で履修者に対し行う。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(60%)/リアクションペーパー・受講態度(40%)

テキスト(Textbooks)

1. 水無田気流、2020、『「居場所」のない男、「時間」がない女』、ちくま文庫 (ISBN:978-4-480-43656-6)

参考文献(Readings)

1. 水無田気流、2020、『背表紙の社会学』、青土社 (ISBN:978-4791773244)
2. 水無田気流、2021、『多様な社会はなぜ難しいか 日本の「ダイバーシティ進化論」』、日本経済新聞出版 (ISBN:978-4532177003)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

第 1 回ガイダンスには必ず出席すること。

注意事項（Notice）